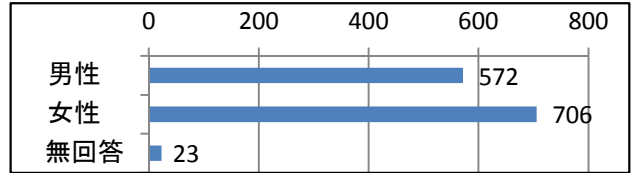


えべつ応援商品券アンケート集計結果

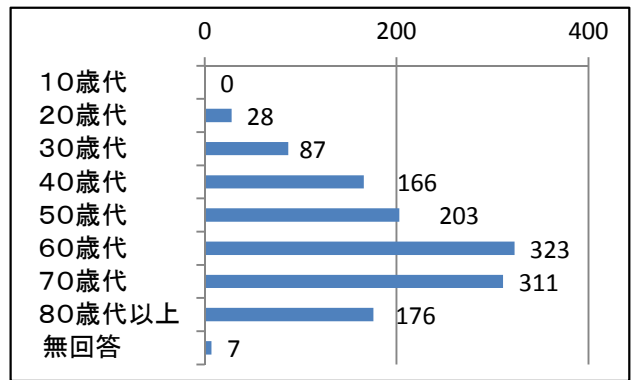
無作為抽出により市内3,000世帯へ郵送にてアンケート調査を実施した結果についてお知らせいたします。
アンケート期間 令和3年1月7日～2月1日 回答数1,301世帯（回答率 43.3%）

Q1：アンケート回答者について

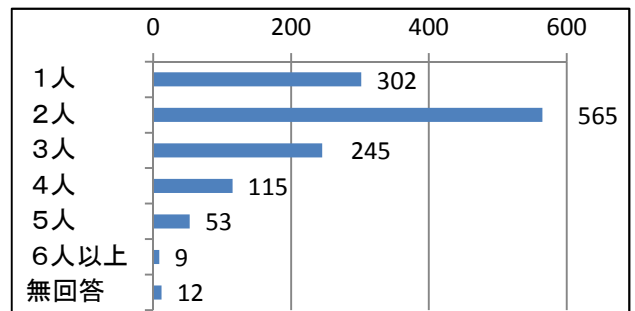
性別		
男性	572	44.0%
女性	706	54.3%
無回答	23	1.8%
回答総数	1,301	100.0%



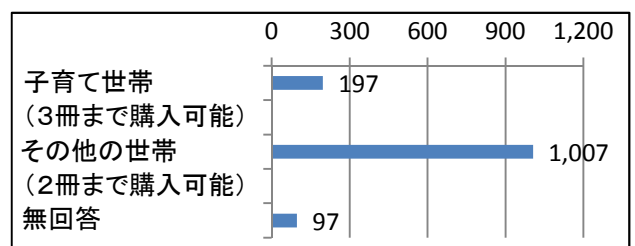
年齢		
10歳代	0	0.0%
20歳代	28	2.2%
30歳代	87	6.7%
40歳代	166	12.8%
50歳代	203	15.6%
60歳代	323	24.8%
70歳代	311	23.9%
80歳代以上	176	13.5%
無回答	7	0.5%
回答総数	1,301	100.0%



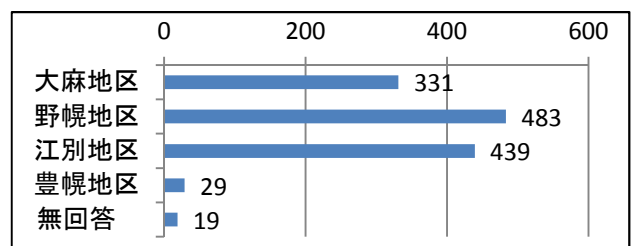
世帯人数		
1人	302	23.2%
2人	565	43.4%
3人	245	18.8%
4人	115	8.8%
5人	53	4.1%
6人以上	9	0.7%
無回答	12	0.9%
回答総数	1,301	100.0%



世帯区分		
子育て世帯 (3冊まで購入可能)	197	15.1%
その他の世帯 (2冊まで購入可能)	1,007	77.4%
無回答	97	7.5%
回答総数	1,301	100.0%

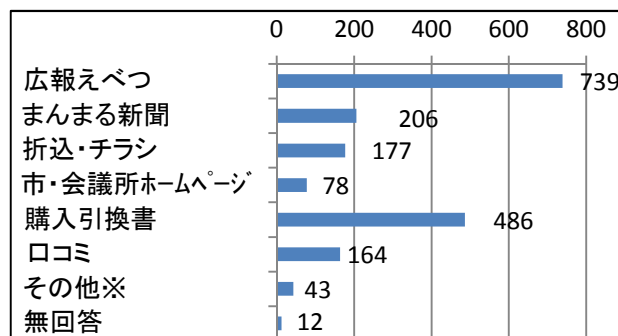


地区		
大麻地区	331	25.4%
野幌地区	483	37.1%
江別地区	439	33.7%
豊幌地区	29	2.2%
無回答	19	1.5%
回答総数	1,301	100.0%



Q2：えべつ応援商品券の販売について、どちらでお知りになりましたか。(複数回答可)

広報えべつ	739	38.8%
まんまる新聞	206	10.8%
折込・チラシ	177	9.3%
市・会議所ホームページ	78	4.1%
購入引換書	486	25.5%
口コミ	164	8.6%
その他※	43	2.3%
無回答	12	0.6%
回答総数	1,905	100.0%

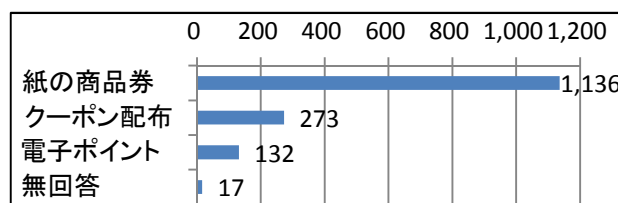


※「その他」の主な内容

SNS／えべナビ／勤務先(参加企業)／入所施設の職員／知人・親族／TV・ネット・ポスター／市からの郵送物／取扱店／北海道新聞／自治会回覧

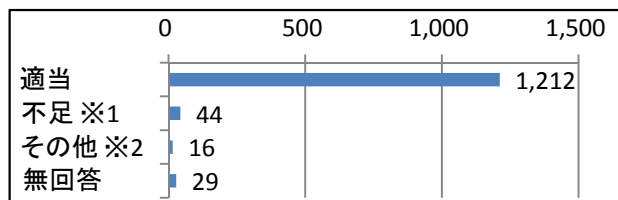
Q3：今回は紙の商品券として販売いたしましたが、今後経済支援策として実施しようとした場合、どのような方式が良いと思われますか。(複数回答可)

紙の商品券	1,136	72.9%
クーポン配布	273	17.5%
電子ポイント	132	8.5%
無回答	17	1.1%
回答総数	1,558	100.0%



Q4：今回の商品券は郵便局と市内主要スーパーにて販売いたしました。販売場所についてどのように思われますか。

適当	1,212	93.2%
不足 ※1	44	3.4%
その他 ※2	16	1.2%
無回答	29	2.2%
回答総数	1,301	100.0%



※1「不足(販売が望まれる施設)」の主な内容

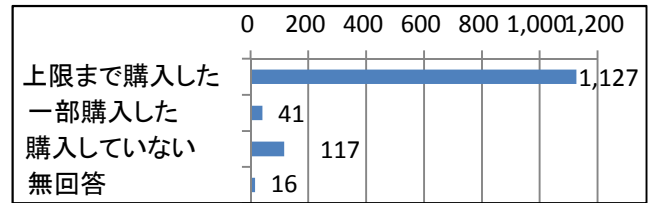
役所・公民館等／祝日や夜間開いている店／スーパー・コンビニ／インターネット販売／最寄りの郵便局／商品券の取扱店全店／銀行等／ドラッグストアー

※2「その他」の主な内容

限られたスーパーで販売するとそのスーパーの方が大変／交換(販売)時の煩雑さを極力無くすこと／買い物に行くのであれば市内どこでも可／今回のようなコロナ禍では電子ポイントなど非接触が良い／商品券か電子ポイントを購入するか選べる方が良い／そもそも販売場所がわからない／配布型にして辞退者は返却制にした方がいい／外出できる家族がいるので今回は大丈夫だったが、高齢となると外出もできないので今後対策を考えて欲しい

Q5：えべつ応援商品券を何冊購入されましたか。

上限まで購入した	1,127	86.6%
一部購入した	41	3.2%
購入していない	117	9.0%
無回答	16	1.2%
回答総計	1,301	100.0%



・世帯区分別購入状況

	3冊購入世帯		2冊購入世帯		無回答		合計	
上限まで購入	173	87.8%	892	88.6%	63	64.9%	1,128	86.7%
一部購入	(6)	(3.0%)	(31)	(3.1%)	(3)	(3.1%)	(40)	(3.1%)
2冊購入	4	2.0%			1	1.0%	5	0.4%
1冊購入	2	1.0%	27	2.7%	2	2.1%	31	2.4%
冊数不明	0	0.0%	4	0.4%	0	0.0%	4	0.3%
購入していない	17	8.6%	74	7.3%	26	26.8%	117	9.0%
無回答	1	0.5%	10	1.0%	5	5.2%	16	1.2%
合計	197	100.0%	1,007	100.0%	97	100.0%	1,301	100.0%

購入していない理由(複数回答)		
①使いづらい	24	19.0%
②使えるお店がわからない	13	10.3%
③販売日程が合わない	7	5.6%
④販売所まで買いに行けない	10	7.9%
⑤1冊の販売価格が高い	11	8.7%
⑥販売期間中に買い忘れた	22	17.5%
⑦その他 ※1	36	28.6%
無回答	3	2.4%
回答総計	126	100.0%

※1「購入していない理由 ⑦その他」の主な内容

購入代金がなかった／商品券を買うと手持ちの現金が減る／1冊買うためにはまとまったお金が要る／金銭的に余裕のある人が得をして、余裕がなければ恩恵もなにもない事業が多いように思う／面倒だった／無理な購入をしないため／暇な人しか(買いに)行けない、かえて不公平では／必要と感じなかった／期限がある／認知症でグループホームに入居中／税金の無駄遣い、原資が不明／知らなかった／市内のみで他に使用できなかった／減収にはなっていないので、購入しないことで予算が余るようなら他の支援を必要としている人に廻してほしいと思う／具合が悪かった／大型スーパーでも小規模店専用券(500円券)が使えたほうが良かった／

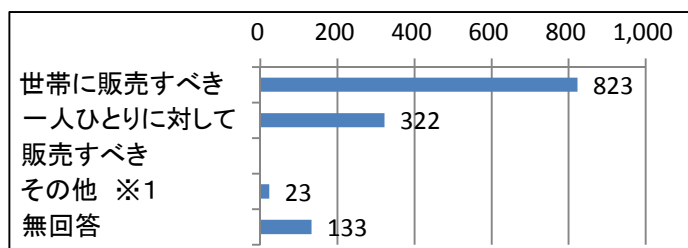
Q6：商品券の販売対象(世帯単位など)についてどのように思われますか。

世帯に販売すべき	823	63.3%
一人ひとりに対して販売すべき	322	24.8%
その他 ※1	23	1.8%
無回答	133	10.2%
回答総計	1,301	100.0%



販売対象とする年齢		
0歳以上	58	36.3%
1歳以上	1	0.6%
2歳以上	1	0.6%
5歳以上	1	0.6%
6歳以上	4	2.5%
7歳以上	2	1.3%
13歳以上	3	1.9%
15歳以上	6	3.8%
16歳以上	6	3.8%
18歳以上	47	29.4%
20歳以上	28	17.5%
50歳以上	1	0.6%
60歳以上	1	0.6%
75歳以上	1	0.6%
回答数	160	100.0%

※ 他、無回答162件



※1「その他」の主な内容

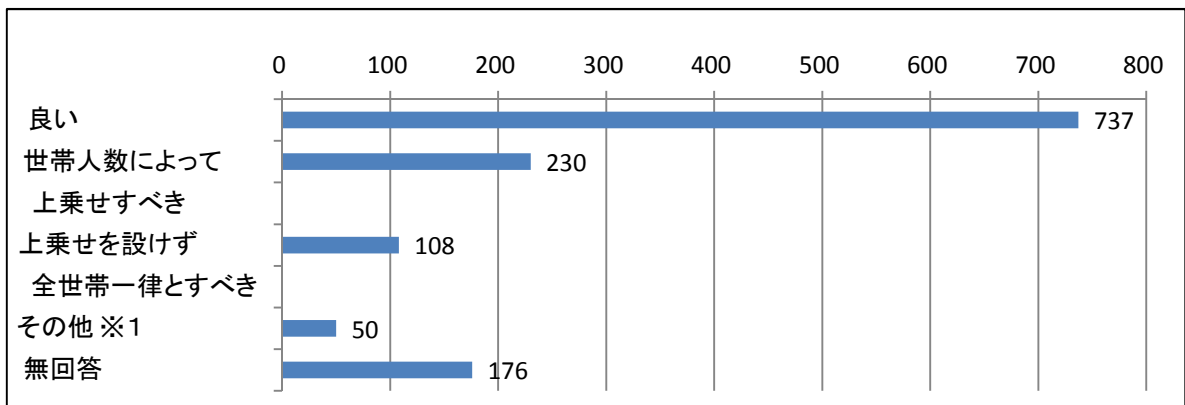
17歳以下の子がいる世帯への上乗せ／世帯の人数分購入したい／家族構成のパターンを増やす／希望者が希望する金額で販売／限度額を決めての販売／購入冊数は各自で決めれば良い／高齢者にも3冊程度まで販売して欲しい／コロナで収入がなくなった人には無償配布、それ以外の人に販売／年齢に関係なくすべての人を販売対象とする／一人ひとりに販売し、中学生以下くらいから額を低く抑えるようにする／余裕のある世帯は少なく販売してもよい／納税(所得)に対応したほうがよい／現状でよい

Q7：今回、高校生以下の子供がいる世帯は商品券を3冊まで購入可能としましたが、この購入冊数の設定について、どのように思われますか。

良い	737	56.7%
世帯人数によって 上乗せすべき	230	17.7%
上乗せを設けず 全世帯一律とすべき	108	8.3%
その他 ※1	50	3.8%
無回答	176	13.5%
回答総計	1,301	100.0%

上乗せ対象人数		
世帯人数(家族全員)	7	5.7%
1人以上	6	4.9%
2人以上	21	17.1%
3人以上	40	32.5%
4人以上	35	28.5%
5人以上	13	10.6%
その他	1	0.8%
回答総計	123	100.0%

※他、無回答107件



※1「その他」の主な内容

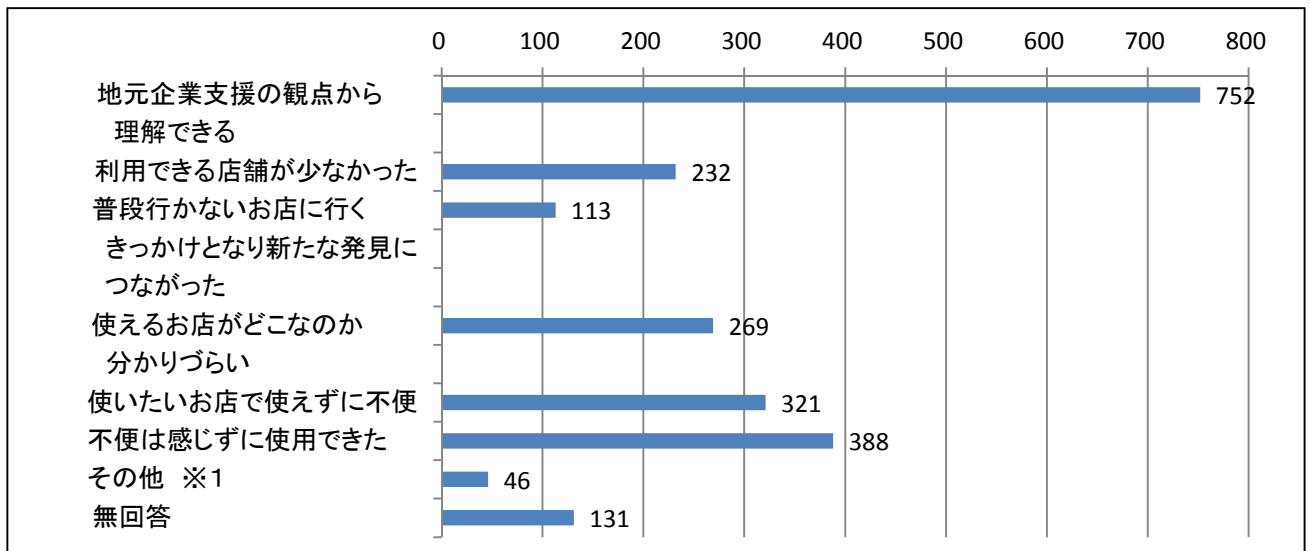
一人1冊、一人世帯と夫婦二人世帯が同じ2冊ではおかしい／小学生以上全員を対象に／中学生以上全員を対象に一人1冊／高校生以下は一人1冊、学生でお金がかかるため／一人あたり数冊と設定／世帯人員すべてを対象とする／希望者が希望する額での販売／高校生以下を子育て世帯と設定した理由を知りたい、子育て世帯は高校生までなのか？／購入上限を設定し、購入冊数は各自が決めればよい／公平性を保つため高校生以下の子供世帯は必要ない、子供から高齢者まで等しく権利を受ける／子供一人につき1冊追加、子供の人数、児童手当対象外に手厚く／子供のいる世帯だけが優遇されるのは不満、平等が良い／全世帯一律の冊数設定／年収に応じた冊数設定／プレミアム率を下げて冊数を増やしたほうが良い／子育て世帯だけではなく、もっと3冊購入できる対象を広げたほうが良い

Q8：今回の「えべつ応援商品券」は、コロナ禍で厳しい経済環境の中、特に厳しい状況にある地元の中小・小規模事業者を応援する目的で、売り場面積1,000㎡以下の登録店での使用に限定した「小規模店専用券(500円券)」をセットにして販売いたしました。「小規模店専用券」発行・使用についてお聞かせください。(複数回答可)

地元企業支援の観点から理解できる	752	33.4%
利用できる店舗が少なかった	232	10.3%
普段行かないお店に行くきっかけとなり新たな発見につながった	113	5.0%
使えるお店がどこなのか分かりづらい	269	11.9%
使いたいお店で使えずに不便	321	14.3%
不便は感じずに使用できた	388	17.2%
その他 ※1	46	2.0%
無回答	131	5.8%
回答総計	2,252	100.0%

※1「Q8 その他」の主な内容

お店の規模に応じて有効に使用できてよかった／小規模店専用券(500円券)が使いにくかった、余ってしまう／区別なくどのお店でも使える商品券のほうが良い／会計時、レジが混雑してなかなか進まなかった／地元企業を応援する目的ならばチェーン店を除く地元店舗に限定した商品券を販売すべき／小規模店舗の応援につながっているのか疑問／チェーン店でも店舗によって違うのがわかりづらい／ドラッグストアは小規模店舗なのか／同じチェーン店でも使える店と使えない店がありわかりづらい／ガソリンスタンドがわかりづらい／まだ使用できず手元に残っている／無駄に枚数だけ多く、お釣りも出ないので使いづらい

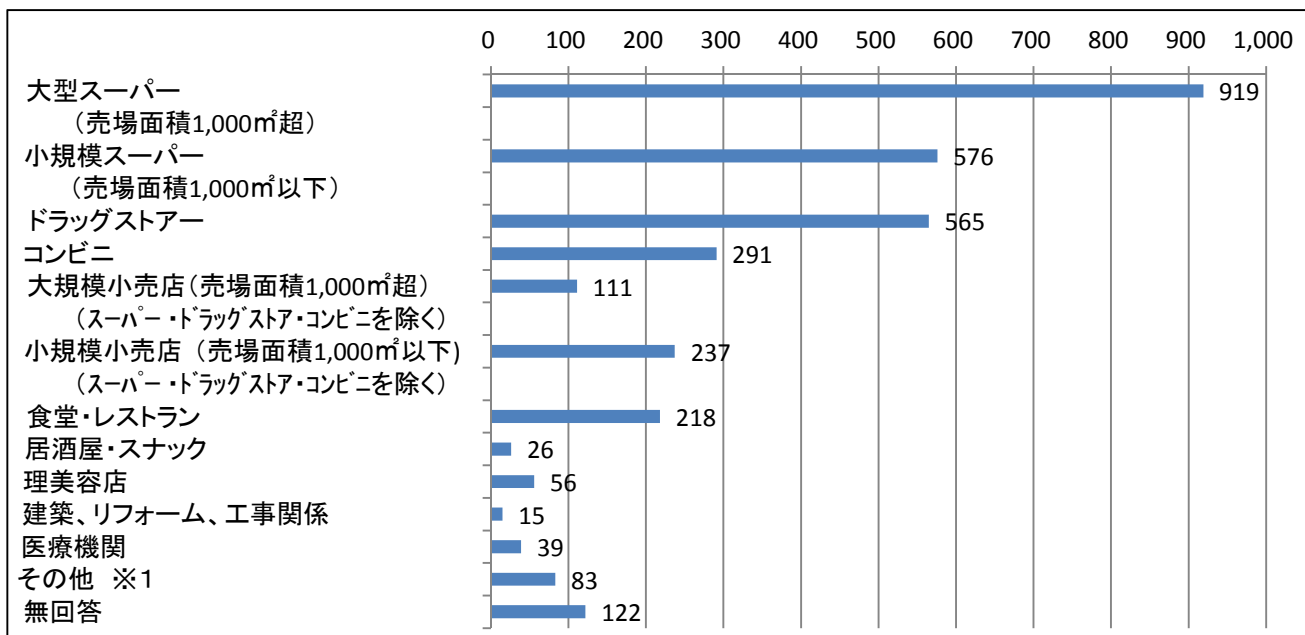


Q9：商品券を主に利用したのはどのような店舗ですか。(複数回答可)

大型スーパー (売場面積1,000㎡超)	919	28.2%
小規模スーパー (売場面積1,000㎡以下)	576	17.7%
ドラッグストア	565	17.3%
コンビニ	291	8.9%
大規模小売店(売場面積1,000㎡超) (スーパー・ドラッグストア・コンビニを除く)	111	3.4%
小規模小売店(売場面積1,000㎡以下) (スーパー・ドラッグストア・コンビニを除く)	237	7.3%
食堂・レストラン	218	6.7%
居酒屋・スナック	26	0.8%
理美容店	56	1.7%
建築、リフォーム、工事関係	15	0.5%
医療機関	39	1.2%
その他 ※1	83	2.6%
無回答	122	3.7%
回答総計	3,258	100.0%

※1「その他」の主な内容

カー用品店／ハウスクリーニング／
ヤクルト宅配／ガソリンスタンド／灯油／
タクシー／クリーニング／映画／
マッサージ・整体／薬局／ストーブ分解掃除／
仕出し弁当／教養・教育関係／
自動車整備・車検／公衆浴場



Q10：どのような目的で商品券を使用されましたか。以下にあてはまるおおよその金額(千円単位)をそれぞれ数字でお書きください。なお、商品券の利用期間が残っていますので、予定を含めてお答えください。

回答項目	金額合計	回答数
a. 普段の買い物を商品券で支払った		
① 支払総額(商品券+現金)	21,263 千円	741
② 内、商品券での支払い額	15,216 千円	775
③ 差引、現金での支払額(①-②)	6,047 千円	-
b. 普段の買い物以外の商品・サービスの購入(商品券がきっかけとなったもの)		
④ 支払総額(商品券+現金)	5,546 千円	268
⑤ 内、商品券での支払い額	2,933 千円	268
⑥ 差引、現金での支払額(④-⑤)	2,613 千円	-

消費喚起について

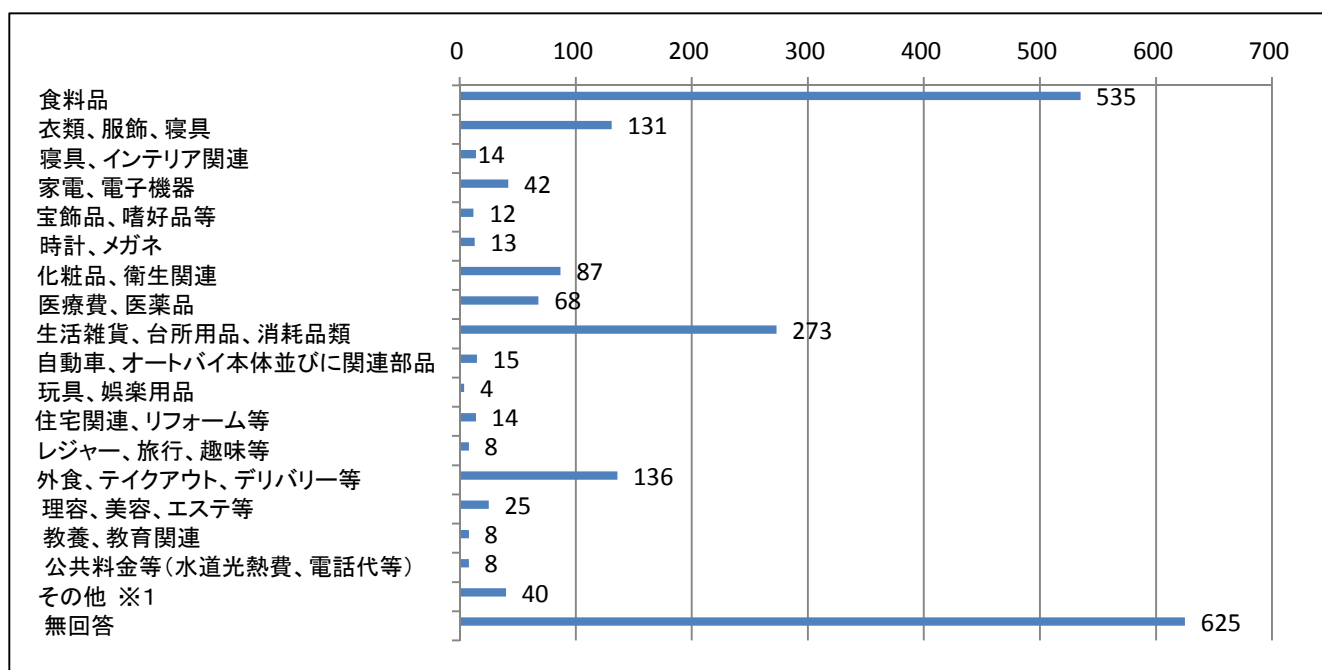
⑦ 商品券での支払い額	18,149 千円	②+⑤
商品券利用額に対する新たな消費喚起効果割合	30.6%	④÷⑦
消費喚起効果額：商品券利用総額1,238,271.5千円×30.6%≒378,911千円		

Q11：商品券を利用した内容で割合が高いものを3つ以内でお答えください。(複数回答可)

食料品	535	26.0%
衣類、服飾、寝具	131	6.4%
寝具、インテリア関連	14	0.7%
家電、電子機器	42	2.0%
宝飾品、嗜好品等	12	0.6%
時計、メガネ	13	0.6%
化粧品、衛生関連	87	4.2%
医療費、医薬品	68	3.3%
生活雑貨、台所用品、消耗品類	273	13.3%
自動車、オートバイ本体並びに関連部品	15	0.7%
玩具、娯楽用品	4	0.2%
住宅関連、リフォーム等	14	0.7%
レジャー、旅行、趣味等	8	0.4%
外食、テイクアウト、デリバリー等	136	6.6%
理容、美容、エステ等	25	1.2%
教養、教育関連	8	0.4%
公共料金等(水道光熱費、電話代等)	8	0.4%
その他 ※1	40	1.9%
無回答	625	30.4%
回答総計	2,058	100.0%

※1「その他」の主な内容

石油ストーブ／ストーブ解体掃除／ガソリン／
灯油／家具／江別特産品／知人への宣伝に
つながった／靴／健康食品／ゴミ袋／映画鑑賞／
除雪費用／新聞代／タクシー／生花／
ペット関連／



Q12：商品券を利用して(一部利用を含む)購入した商品、サービスのうち合計額が10,000円以上のものがあれば具体的な品名・サービス名をお書きください。

高級食材／おせち料理／酒類／米／菓子／知人への贈答品／飲食(寿司・焼き肉・焼き鳥・レストラン利用)／
空気清浄機／仕出し弁当／飲食店のテイクアウト／給湯器修理／電動歯ブラシ／電気スタンド／炊飯器／
掃除機／ミシン／ハウスクリーニング／加湿器／洗濯機／エアコン／ストーブ／ストーブ解体清掃／ブルー
レイディスク／オープン／電子レンジ台／電気ポット／テレビ／プリンター／FAX付き電話機／パソコン／
ゲーム機／自動車／ドライブレコーダー／自動車用バッテリー／車内コンソール／タイヤ／ホイール／車検
費用／自転車／灯油／ガソリン／生花／線香／出窓サッシ交換／畳／ソファー／カーペット／家具／表札／
マスク／スーツ／コート／ダウンコート／シャツ／ズボン／寝具／布団打ち直し／防寒靴／長靴／美容院／
化粧品／眼鏡／はがき印刷／記念写真撮影／除雪費用／医療費／など

Q13：今回の商品券事業に関してご意見がありましたらご記入ください。

※ご意見については、内容ごとに集約した形で掲載しております。

○販売方法

・引換書による販売方法はよかった。・販売場所が多くてよかった。・電子ポイントなどキャッシュレス決済に対応した方法がよい。・購入時の現金支出など負担も大きいので、現金支出を伴わないクーポンの配布や電子ポイントの付与、マイナポイントとの連動などの方がよい。・現金以外でも商品券を購入できる方がよい。・販売期間が短い、また、高齢者や体調不良の方、買いたくても買いに行けない方への配慮も必要。

○販売冊数

・もっと多くの商品券を購入したい、一人ひとりや世帯人数に応じた冊数を販売した方がよい。
・高齢者、子育て世帯や低所得世帯に対して、より手厚く販売した方がよい。

○商品券発行の効果

・いつもは市外で買うものも市内で購入したり、普段購入できないものも購入できたなど、消費意欲の喚起にはつながった。・医療費に使えたのがよかった。・日常の買い物に使われ、取扱店への波及効果や経済効果はあまりないのではないかと。・普段カードで買物をするので、あまり役立ったとは感じない。

○小規模店専用券(500円券)の設定

・小規模店専用券の設定は、地元のお店に初めて行くきっかけとなり、地元企業の支援や市の活性化にもつながりよいことだと思う。・取扱店一覧で小規模店専用券を使えるお店もわかったのが、使いやすかった。・地元企業の支援が目的ならば、小規模店専用券のみ販売したほうがよいのでは。
・小規模店専用券があっても地元の小規模店舗の利用にはつながらず、もっと工夫が必要ではないか。
・売場面積による区分では不公平で会社の規模や資本金など他の方法で区分したほうがよいのでは。
・小規模店専用券は使えるお店が少なくわかりにくい。
・大型スーパーで使えないなど使用しにくいので割合を減らしたり、利用先の制限をなくすすべてのお店ですべての商品券を使えるようにしてほしい。
・小規模店専用券のプレミアム率を高くすることで差別化が図れると思う。

○商品券の使用について

・商品券を使えるお店が多くてよかった。・取扱店の掲示物や取扱店なのかどうか、どの券が使えるのかなどがわかりづらかった。・商品券が使えるもの、使えないものが分かりづらかった。・取扱店が少なくもっと多くのお店で使えたらよいと思う、市外でも使えたほうがよい。・早期に取扱店を確定し、早めにわかりやすく周知してほしい、事前に使えることを知っていれば行っていたお店もある。
・コロナの影響を受けた事業者の応援が目的ならば、コロナの影響を受けていない業種は対象外としてよいのではないかと。・取扱店によって商品券の取り扱い方法や差額不足分の支払い方法が違うことがあり、戸惑う場面があった。・取扱店に登録されているのに、商品券は使えないと言われていたり、快く受け取らない店があった。・商品券で支払うと、ポイントの付与や還元の対象にならず、現金や電子マネーのほうが有利になる場合があった。

○その他

・額面を100円～200円程度にしたほうが使いやすい(お釣りが出ないので)、もしくはお釣りが出るようにしてほしい。・額面を統一してほしい。・使用期間が短い。・もっとプレミアム率を上げてほしい。
・外国の方が分かりづらかったと言っていた。・取扱店に早くお金が回るようにしてほしい。
・使い残した商品券の払い戻しをしてほしい。・商品券のサイズや紙質などが取り扱いしにくく、持ち歩きにもかさばるので、もう少しコンパクトな方がよい。・もっと簡素にしたほうが良い。
・コロナウイルスの影響はまだ続くと思われるので、今後も実施してほしい、年に数回実施してほしい。

※「えべつ応援商品券事業」に関するご意見以外は、掲載を省略させていただきます。

○「えべつ応援商品券」発行事業の総括

今回の「えべつ応援商品券」発行事業において、商品券の販売については、密集や混雑を避けるべく、全対象者へ事前に購入引換書を送付し、購入限度を、平成14年4月2日から令和2年7月31日までの間に出生の子供(高校生以下)がいる世帯は3冊、それ以外の世帯は2冊までとし、もれなく購入できる引換販売としたことと、市内郵便局並びに一部簡易郵便局14箇所に加え、主要スーパーマーケット等13箇所のあわせて27箇所で10月1日～31日の1ヶ月間実施したことなどの効果もあり、販売時に大きな混雑や混乱は見られず、概ね円滑に行われたと考えられます。

本アンケート調査において、販売方法等においてはよかったとのご意見をお寄せいただいた反面、年齢や健康上の都合で購入に行けない方への配慮や便利な購入方法、販売冊数の設定方法、また、大規模店舗への商品券利用の偏重を抑制し小規模店舗での利用機会の創出を目的として設定しました、使用可能店舗を売場面積1,000㎡以下の小規模店舗に限定した小規模店専用券などに対しましてご意見を頂いており、今後の検討課題と考えております。

また、今回の「えべつ応援商品券」発行事業の消費喚起効果を当アンケートの回答から算出すると商品券利用総額のおおよそ30.6%に相当する約378,911千円の新たな消費が発生したものと推測されるほか、当アンケート並びに同時に実施いたしました「取扱店アンケート調査」において、再度の商品券発行事業の実施を希望する意見も多数寄せられており、一定の成果があったものと考えられます。

江 別 市

業務受託者：江別商工会議所

〒067-8547 江別市4条7丁目1番地

TEL:011-382-3121 FAX:011-385-2100

ホームページ <https://www.ebetsu-cci.or.jp>